

催眠とアンドロイド

ヴェイリエ・ド・リラダン『未来のイヴ』をめぐるふたつの会話

2023

12/16

対面 × オンライン  

(土) 14:00~17:00

京都大学人文科学研究所 本館4階 大会議室

登壇者

福田 裕大 近畿大学国際学部准教授
上尾 真道 広島市立大学国際学部准教授
井上 卓也 日本学術振興会特別研究員 (PD)
宇佐美 達朗 京都大学非常勤講師
中筋 朋 京都大学大学院人間・環境学研究科准教授

コメンテーター

木元 豊 武蔵大学人文学部教授

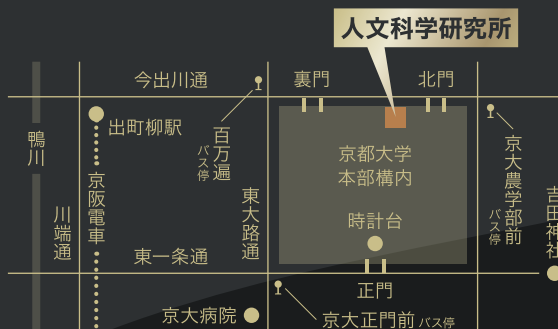
司会

森本 淳生 京都大学人文科学研究所教授

聴講
無料

第一部 催眠と意識の謎

第二部 人間の営みを再現する機械



主催 京都大学人文科学研究所

お問い合わせ 京都大学人文科学研究所
z-academy@zinbun.kyoto-u.ac.jp

www.zinbun.kyoto-u.ac.jp

催眠とアンドロイド

人文研アカデミー2023
シンポジウム

『未来のイヴ』をめぐるふたつの会話

ヴィリエ・ド・リラダンの『未来のイヴ』(1886年)は、神話、古典、現代文学の流れをふまえた文学作品としての要素と、科学への期待と懸念がふくらむ時代の空気を反映した科学的要素とが不思議に組み合わせられた特異な小説です。この小説は、神話からつらなる文学的伝統に彩られた科学小説というわけでも、最新の科学的知見をスパイスにした幻想小説というわけでもありません。むしろ、このふたつの相反するはずの要素がわかちがたく結びあって、小説というメディアならではの仕方でメッセージを提示しています。

ところがこの時代、科学・思想・文学の言説は、現代よりも密接に絡み合っていて、その連関を解きほぐすのは容易ではありません。そこで、専門の異なる者同士の会話を通してこの小説の姿を浮き彫りにしていくのはどうかと考えました。

今回は特に、「催眠と意識の謎」と「人間の営みを再現する機械」のふたつにテーマを絞って、話題提供者の発表を糸口として自由に会話しながら、『未来のイヴ』がもつ多角性を浮き彫りにしていきたいと思います。

登壇者 **福田 裕大**

近畿大学国際学部准教授 / フランス文学・メディア史
著書に『シャルル・クロ 詩人にして科学者 — 詩・蓄音機・色彩写真』(水声社、2014年) など

上尾 真道

広島市立大学国際学部准教授 / 精神分析・思想史
著書に『ラカン 真理のパトス』(人文書院、2017年) など

井上 卓也

日本学術振興会特別研究員(PD)・京都外国語大学・京都大学非常勤講師 /
思想史・精神分析史

宇佐美 達朗

京都大学・京都精華大学・摂南大学非常勤講師 / 哲学
著書に『シモン哲学研究 — 関係の実在論の射程』(法政大学出版局、2021年) など

中筋 朋

京都大学大学院人間・環境学研究科准教授 / フランス演劇
著書に『フランス演劇からみるボディワークの萌芽 — 「演技」から「表現」へ』(世界思想社、2015年) など

コメンテーター **木元 豊**

武蔵大学人文学部教授 / フランス文学
著書(共著)に香川檀編『人形の文化史 — ヨーロッパの諸相から』(水声社、2016年) など

司会 **森本 淳生**

京都大学人文科学研究所教授 / フランス文学・思想
近刊の翻訳書に、ジャック・ランシエール『文学の政治』(水声社、2023年6月) など

本シンポジウムは対面とZoomウェビナーを利用したオンライン視聴を併用して実施します

- ① 対面での参加の場合は事前登録不要ですので、当日会場にお越しください。
- ② オンラインで資料を希望される方は、以下のリンクから事前登録をお願いします。

https://zoom.us/webinar/register/WN_ChA7HG4_SKat6BRP0zTBsw

ご登録いただいたメールアドレスに視聴用URLが送付されますので、
シンポジウム当日はそちらのURLにアクセスをお願いします。

